

森林ボランティア「でるくいわーくす」の森づくりの紹介

「でるくいわーくす」

平成12年11月に発足した森林ボランティア団体「でるくいわーくす」は、12年の充実した取り組みを評価され、「ひょうご森のまつり2012」において、ひょうご森づくり活動賞を受賞されました。

同団体は、国文学者 柳田 國男先生の生誕地である神崎郡福崎町の東部に位置する福崎町大貫地区を中心に活動し、西島 修一さんを代表に20名で構成されています。

平成21年度里山ふれあい森づくり事業を活用した里山林の整備（遊歩道の開設、ベンチの設置）、古墳の整備、「円筒はにわ」の作成などの活動を地域住民と連携して展開しています。



作成した「円筒はにわ」とサクラの植栽

整備された里山林に接する相山古墳一帯では、数多くの「円筒はにわ」等が出土して地域住民はもとより、県民の感動を得ています。

歴史の町、福崎町での「円筒はにわ」の作成は、小・中学生の歴史学習、こころ豊かな人格形成、調和ある地域の発展に資するものとして取り組まれています。



放置されていた「相山古墳」周辺は竹林に覆い尽くされていましたが、同団体の1年間の活動により、写真のようにきれいに整備され、現在では、子供から大人まで気軽にハイキング等ができる憩いの場として、地域住民に親しまれています。



整備された遊歩道とベンチの設置

同団体による里山林の整備や相山古墳の整備は、構成員のみならず、広く地域住民にも呼びかけ、記念植樹大会を開催する等、地域をあげての取り組みとし、県民総参加の森づくりの推進に寄与しています。



地域住民参加の記念植樹大会